



3 月 号

令和3年 2月26日

横浜市立東中田小学校

校長 天野 直美

TEL.802-0500 FAX.801-4089

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/higashinakada/>

## 舵をきる

校 長 天野 直美

校庭の梅が咲き、鳥が鳴く春の気配の漂う校庭で、子どもたちが力いっぱい体を動かしています。私が出勤すると早朝から体育の準備を行っている先生方の姿を見かけます。横浜市のガイドラインに沿って安全に活動できるよう、校庭にラインを引いたり用具を準備したりしながら様々な場の工夫を施して、子どもたちに最適な運動量を確保しようと頑張ってくださいています。場の設定がなされた校庭で、子どもたちは生き生きとめあてを追求しながら体育の学習を行っています。昨年度よりも子どもたちの動きが良くなっているように私は感じます。先日2階の教室から4年生のハードルの授業を眺めていますと、たった45分の学習で跨ぎ越すときのフォームはもちろん、ハードルとハードルの間の歩数を意識し、リズムよく流れるようにハードル走ができるようになった子どもがたくさんいました。成果を見合い、互いのよさを認め合いながら、次の授業ではどんなめあてで取り組もうかと一人ひとりさらなる意欲をもつことができたと遠く2階の教室にも伝わってきました。2月には短縄週間もありました。体育委員会の企画で今年度2回目の短縄週間でした。短縄の技を組み合わせ音楽に乗せてダンスのようにしたり、アスレチックの場を作ってチャレンジできるようにしたりして、大変意欲的に活動を作り上げました。そのおかげで全校の子どもたちが積極的に校庭に出て楽しみながら、様々な技に挑戦してできるようになりました。同時進行で校舎内では保健委員会の「手洗い実験」が行われていました。コロナ禍ではありましたが、先生方と子どもたちが協働し、全校児童の体力アップ、健康管理力アップにつなげたことは間違いありません。



校内を回っていると先生方や子どもたちの新しい取組に出会います。理科室では6年生が「プログラミング」に取り組んでいました。理科支援員の三觜さんが準備を整えてくださり、一人1実験の場の設定が可能な環境になりました。来年度からリモート授業が出来るようにICT支援員の赤田さんが視聴覚機器の整備・準備をしてくださっています。職員室アシスタントの有吉さんと木原さんが、教材の作成や印刷を行ってくださいいます。個別支援学級には支援員の磯飛さん、松野さん、中西さんが子どもたちの活動に寄り添ってくださいいます。このようにスタッフと子どもたちの頑張りに支えられて一年間何とか無事に



に過ごすことができました。加えて地域・保護者の皆様の温かいまなざし。この力の結集は東中田小学校の素晴らしい伝統であると同時に、これからの学びの環境の変化にも対応し、東中田小の子どもたちの成長をずっと支え、促すものであると思います。大変な1年間ではありましたが、新しい時代の舵取りの手立ても少し見えてきたように感じます。1年間の皆様のご支援・ご協力に対し、感謝申し上げますと同時に来年度もどうぞよろしくお願いたします。